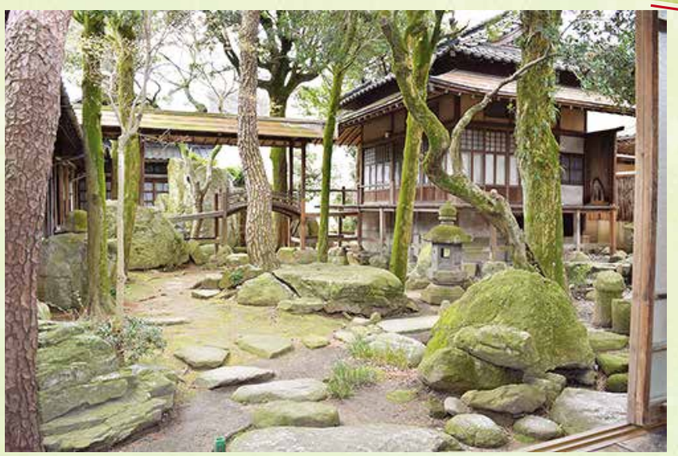
平田家住宅（平田氏庭園）

庭園を中心とした素晴らしい配置に注目！



幕末から明治初期に第4代平田伍三郎が、木蝋業により財産基礎を作り、銀行を設立した豪商の邸宅です。明治時代～昭和初期に建てられた「平田家住宅」の建築群は、小郡市の有形文化財になっています。

平田氏庭園は、平成30年に国登録記念物（名勝地関係）に選定された庭園。池泉観賞式庭園と呼ばれ、流れや園地、分割して運搬した巨岩を接合した高さ4m×幅8mの滝石組が注目されます。

住 小郡市小郡1155
営 9:00～16:30（入館は16:00まで）
休 日・月・祝
（イベント期間は日・祝オープン）

平田家住宅に関するお問い合わせ
小郡市文化財課　TEL 0942-75-7555

歴史を感じる自分だけの静かな時間

九州歴史資料館

日本の西端で大陸と向き合い、古くから対外交流の窓口としての役割を果たしてきた九州。その九州の歴史と特質を明らかにするため昭和48年に太宰府市に開館し、平成22年に小郡市三沢に移転しました。館の建物は県指定史跡三沢遺跡に隣接しています。遺物の整理や修復、保存の様子を見学することもできます。

住 小郡市三沢5208-3
営 9:30～16:30（入館は16:00まで）
休 月（祝日の場合はその翌日）
電 0942-75-9575

薩摩街道の宿場町 松崎を訪ねて

旧松崎旅籠油屋（はたごあぶらや）

市指定有形文化財

江戸時代後期（19世紀）に建てられた大型の旅籠建築。昭和のはじめ頃まで旅籠として使われました。建物は主屋と座敷からなり、主屋には一般客を、座敷には身分の高い賓客を宿泊させていたと言われています。乃木希典や有栖川熾仁親王などが油屋を訪れたと言われ、また7畳半の座敷に西郷隆盛が宿泊したという伝承が残っています。

住 小郡市松崎786-1
営 9:00～16:30（入館は16:00まで）
休 日・月・祝
（イベント期間は日・祝オープン）

大名が通った参勤交代の道を散策してみよう

松崎の地名は有馬豊範が御原郡19カ村1万石の分知を受け、寛文12年（1672）頃に鶴崎の地（現在の県立三井高校）に居城を築き、名を「松崎」と改めたことに由来。松崎藩の設置に伴い薩摩街道が天下道と定められたことで、松崎の地が宿場町として整備されていきました。

北構口（市指定史跡）

宿場の入口に設けられた石垣と土塁のこと。南構口も合わせて4つの石垣が残るのは全国的にも非常に貴重。

享保13年（1728）8月、農民達が藩の重税に耐えられず、一揆を起こしました。（当時、一揆が起これば首謀者は処刑されていましたが）27才の若年家老・稲次因幡正誠は単身首謀者と会見して、農民の要求に応じ、また首謀者の処刑はしないと約束し、農民達を救いました。因幡が死去した後、筑後八郡の百姓はその死を悲しみ、懇ろに霊鷲寺へ葬りました。その墓前には庄屋大庄屋などが灯籠を建てました。

霊鷲寺には、江戸中期に起きた一揆で農民側に1人の死者も出さずに農民を救った稲次因幡正誠（イナツグイナバマササネ）の墓があります。

瑞松山霊鷲禅寺（ずいしょうざんりょうじゅうぜんじ）

松崎藩の有馬豊範が延宝8年（1680）に、三潴郡西牟田からこの地に移しました。薩摩街道に面する所に下馬石があり参勤交代の大名も籠や馬から下りて拝礼して通過したと言われています。

住 小郡市松崎111-1

松崎宿の見学等に関するお問い合わせ
特定非営利活動法人　文化財保存工学研究室
TEL0942-80-1920